

■2023年度「豊岡市自主防災組織実態調査」回答結果一覧表

2024. 3. 22 現在

1 自主防災組織の有無

市内の自主防災組織の実態を把握するため、本年度も市内の全区・町内会（359区）を対象に調査を実施した。調査対象期間は、2023年4月～2024年3月。

市では、組織結成についての基準を、「規約」の有無を判定基準とし、実際に活動を行っていても「規約」がなければ自主防災組織がないものとして取り扱うこととしている。また、世帯数が少なく、自主防災組織の規約作成が難しい区の場合は、規約の代替として「災害時における避難のルール」を定めていれば「規約あり」とみなしている。

今回の調査では、「組織あり」は、359区中295区で、組織結成率は82.2%となり、昨年度と比較して13区増加した。

調査結果については、今後の自主防災組織の育成・強化の取組みを推進するための基礎資料として活用し、今後も実態調査を定期的実施しながら、自主防災組織の現況把握と地域防災力向上への支援に努めていく。

※各調査項目の百分率は、端数処理のため合計が100%とならない場合あり。
※正しくは「区・町内会」だが、便宜上「区」と表示している。

【2023年度 自主防災組織の有無】 N=359《市内全区》

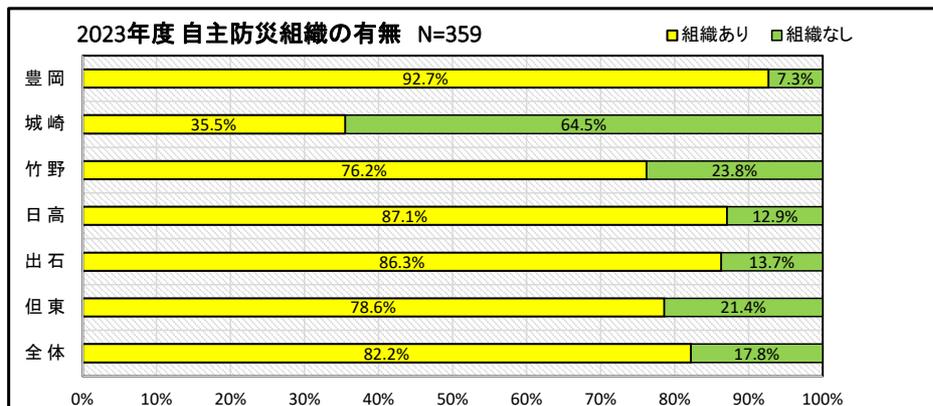
	対象 区数	組織状況（「規約」の有無）							
		組織あり		組織なし					
		区数	組織率	区数	率	(内)結成予定あり		(内)結成予定なし	
				区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	123	114	92.7%	9	7.3%	5	55.6%	4	44.4%
城崎	31	11	35.5%	20	64.5%	2	10.0%	18	90.0%
竹野	42	32	76.2%	10	23.8%	1	10.0%	9	90.0%
日高	70	61	87.1%	9	12.9%	2	22.2%	7	77.8%
出石	51	44	86.3%	7	13.7%	2	28.6%	5	71.4%
但東	42	33	78.6%	9	21.4%	3	33.3%	6	66.7%
全体	359	295	82.2%	64	17.8%	15	23.4%	49	76.6%

※組織率＝組織ありの区÷全区数

《参考 2022年度調査結果》 N=359

	対象 区数	組織状況（「規約」の有無）							
		組織あり		組織なし					
		区数	組織率	区数	率	(内)結成予定あり		(内)結成予定なし	
				区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	123	110	89.4%	13	10.6%	7	53.8%	6	46.2%
城崎	31	11	35.5%	20	64.5%	2	10.0%	18	90.0%
竹野	42	28	66.7%	14	33.3%	4	28.6%	10	71.4%
日高	70	58	82.9%	12	17.1%	4	33.3%	8	66.7%
出石	51	43	84.3%	8	15.7%	3	37.5%	5	62.5%
但東	42	32	76.2%	10	23.8%	2	20.0%	8	80.0%
全体	359	282	78.6%	77	21.4%	22	28.6%	55	71.4%

※組織結成率＝組織ありの区÷全区数



2 自主防災組織の状況

(1) 組織代表者

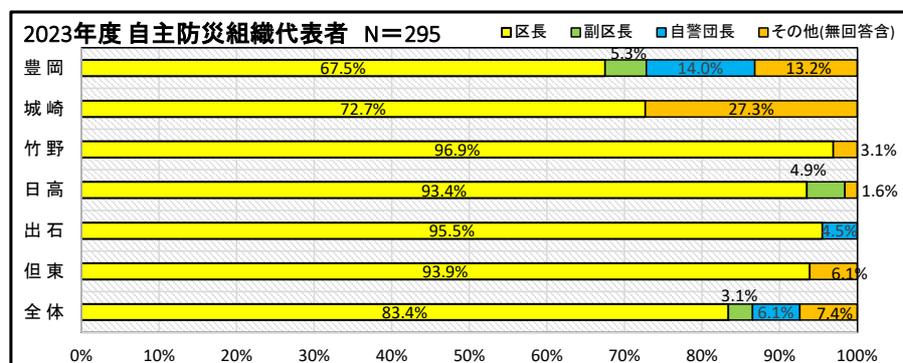
自主防災組織の代表者については、組織ありの295区のうち、83.4%（246区）で区長が就任している。次いで自警団長が6.1%（18区）であり、副区長は3.1%（9区）となっている。その他と回答しているものには、区内の別組織の長が就任している場合や、区長の推薦、会員の互選により就任している場合等がある。

【2023年度 自主防災組織代表者】 N=295<<自主防災組織あり区>>

	対象区数	区長		副区長		自警団長		その他(無回答含)	
		区数	率	区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	114	77	67.5%	6	5.3%	16	14.0%	15	13.2%
城崎	11	8	72.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	27.3%
竹野	32	31	96.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%
日高	61	57	93.4%	3	4.9%	0	0.0%	1	1.6%
出石	44	42	95.5%	0	0.0%	2	4.5%	0	0.0%
但東	33	31	93.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.1%
全体	295	246	83.4%	9	3.1%	18	6.1%	22	7.4%

《参考 2022年度調査結果》 N=319

	対象区数	区長		副区長		自警団長		その他(無回答含)	
		区数	率	区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	110	72	65.5%	6	5.5%	16	14.5%	16	14.5%
城崎	11	9	81.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%
竹野	28	28	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
日高	58	52	89.7%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%
出石	43	41	95.3%	0	0.0%	2	4.7%	0	0.0%
但東	32	30	93.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%
全体	282	232	82.3%	8	2.8%	20	7.1%	22	7.8%

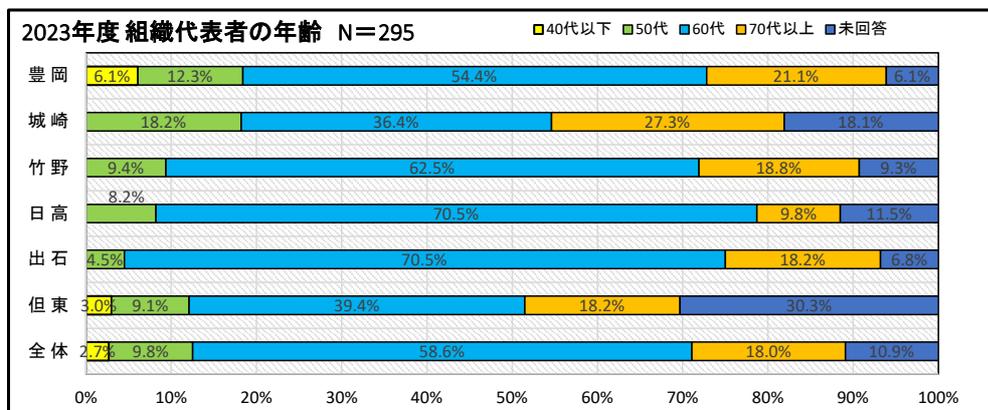


(2) 組織代表者の年齢

自主防災組織代表者の年齢で最も多いのは60代で、全体の半数以上となる58.6%（173区）であった。次いで70代以上の18.0%（53区）、50代の9.8%（29区）、40代未満の2.7%（8区）となっている。

【2023年度 組織代表者の年齢】 N=295<自主防災組織あり区>

	対象区数	40代以下		50代		60代		70代以上		無回答	
		区数	率	区数	率	区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	114	7	6.1%	14	12.3%	62	54.4%	24	21.1%	7	6.1%
城崎	11	0	0.0%	2	18.2%	4	36.4%	3	27.3%	2	18.1%
竹野	32	0	0.0%	3	9.4%	20	62.5%	6	18.8%	3	9.3%
日高	61	0	0.0%	5	8.2%	43	70.5%	6	9.8%	7	11.5%
出石	44	0	0.0%	2	4.5%	31	70.5%	8	18.2%	3	6.8%
但東	33	1	3.0%	3	9.1%	13	39.4%	6	18.2%	10	30.3%
全体	295	8	2.7%	29	9.8%	173	58.6%	53	18.0%	32	10.9%

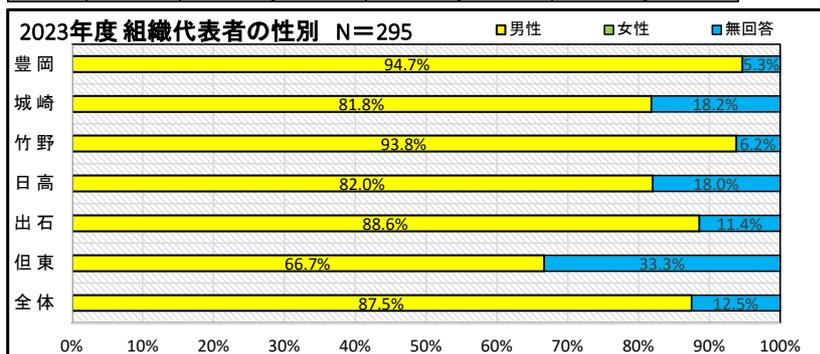


(3) 組織代表者の性別

自主防災組織代表者の性別は、回答があったすべての区、全体の87.5%（258区）が男性であった。残りは回答がなかったため、代表者の方が女性の区は0区であった。

【2023年度 組織代表者の性別】 N=295<自主防災組織あり区>

	対象区数	男性		女性		無回答	
		区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	114	108	94.7%	0	0.0%	6	5.3%
城崎	11	9	81.8%	0	0.0%	2	18.2%
竹野	32	30	93.8%	0	0.0%	2	6.2%
日高	61	50	82.0%	0	0.0%	11	18.0%
出石	44	39	88.6%	0	0.0%	5	11.4%
但東	33	22	66.7%	0	0.0%	11	33.3%
全体	295	258	87.5%	0	0.0%	37	12.5%



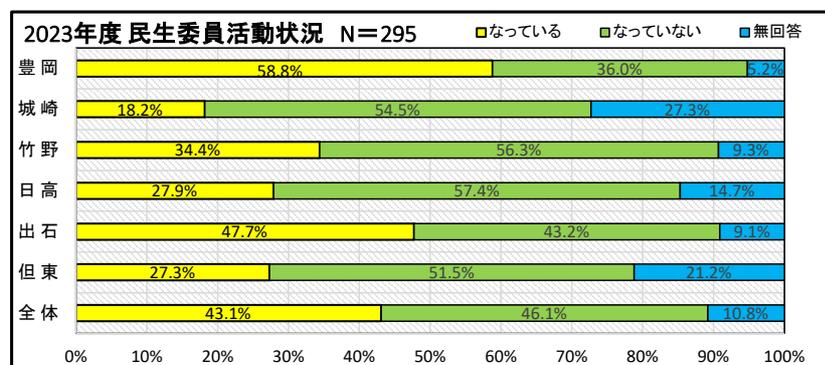
(4) 民生委員が自主防災組織のメンバーに所属し、災害時に連携して活動できる状況になっているか
 組織ありの295区のうち、43.1%（127区）が、民生委員が自主防災組織に所属し、災害時に連携して活動できる状況になっていると回答している。

【2023年度 民生委員活動状況】 N=295《自主防災組織あり区》

	対象区数	なっている		なっていない		無回答	
		区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	114	67	58.8%	41	36.0%	6	5.2%
城崎	11	2	18.2%	6	54.5%	3	27.3%
竹野	32	11	34.4%	18	56.3%	3	9.3%
日高	61	17	27.9%	35	57.4%	9	14.7%
出石	44	21	47.7%	19	43.2%	4	9.1%
但東	33	9	27.3%	17	51.5%	7	21.2%
全体	295	127	43.1%	136	46.1%	32	10.8%

《参考 2022年度調査結果》 N=282《自主防災組織あり区》

	対象区数	なっている		なっていない		無回答	
		区数	率	区数	率	区数	率
豊岡	110	55	50.0%	43	39.1%	12	10.9%
城崎	11	2	18.2%	5	45.5%	4	36.3%
竹野	28	8	28.6%	15	53.6%	5	17.8%
日高	58	16	27.6%	33	56.9%	9	15.5%
出石	43	14	32.6%	22	51.2%	7	16.2%
但東	32	8	25.0%	17	53.1%	7	21.9%
全体	282	103	36.5%	135	47.9%	44	15.6%



3 各種マニュアルの作成状況

(1) 区独自の災害時マニュアルの作成

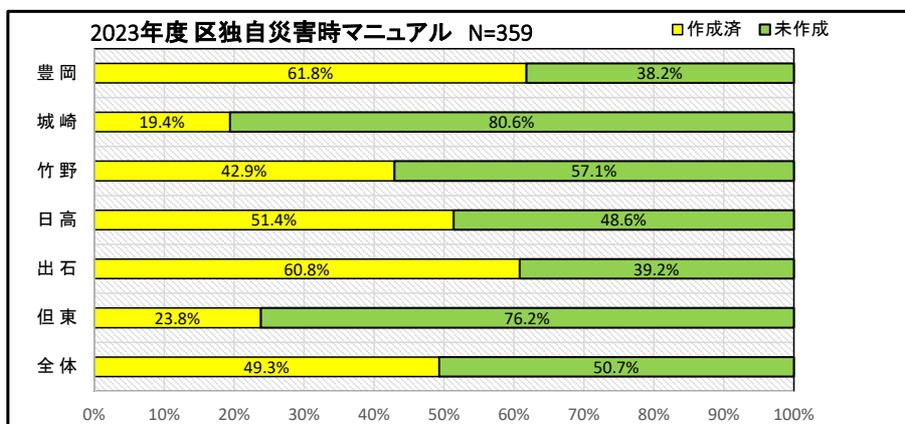
区独自の災害時マニュアルの作成状況については、全体で49.3%（177区）が作成済みとなっており、昨年度調査と比較して2区増加した。

【2023年度 区独自災害時マニュアル】 N=359<<市内全区>>

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		(内)作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	123	76	61.8%	47	38.2%	4	8.5%	43	91.5%
城崎	31	6	19.4%	25	80.6%	0	0.0%	25	100.0%
竹野	42	18	42.9%	24	57.1%	1	4.2%	23	95.8%
日高	70	36	51.4%	34	48.6%	7	20.6%	27	79.4%
出石	51	31	60.8%	20	39.2%	0	0.0%	20	100.0%
但東	42	10	23.8%	32	76.2%	2	6.3%	30	93.8%
全体	359	177	49.3%	182	50.7%	14	7.7%	168	92.3%

《参考 2022年度調査結果》 N=359

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		(内)作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	123	75	61.0%	48	39.0%	7	14.6%	41	85.4%
城崎	31	6	19.4%	25	80.6%	0	0.0%	25	100.0%
竹野	42	16	38.1%	26	61.9%	1	3.8%	25	96.2%
日高	70	35	50.0%	35	50.0%	8	22.9%	27	77.1%
出石	51	31	60.8%	20	39.2%	1	5.0%	19	95.0%
但東	42	12	28.6%	30	71.4%	2	6.7%	28	93.3%
全体	359	175	48.7%	184	51.3%	19	10.3%	165	89.7%



(2) 避難行動要支援者個別避難計画の作成（全体）

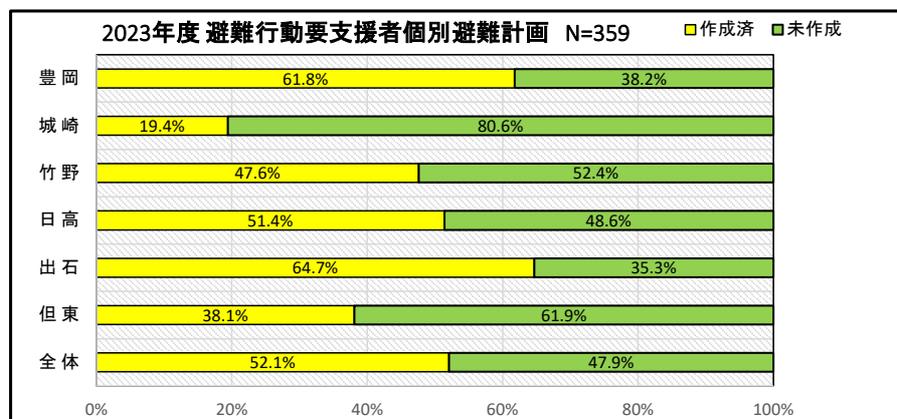
避難行動要支援者の避難については、「いつ、誰が、誰を、どこに避難させるか」ということを定めた避難行動要支援者個別避難計画の作成を、市社会福祉課より各区に依頼しているところであるが、その策定状況は187区（52.1%）が作成済みで、昨年度調査の179区（49.9%）から8区増加した。

【2023年度 避難行動要支援者個別避難計画】 N=359<<市内全区>>

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	123	76	61.8%	47	38.2%	5	10.6%	42	89.4%
城崎	31	6	19.4%	25	80.6%	2	8.0%	23	92.0%
竹野	42	20	47.6%	22	52.4%	2	9.1%	20	90.9%
日高	70	36	51.4%	34	48.6%	5	14.7%	29	85.3%
出石	51	33	64.7%	18	35.3%	0	0.0%	18	100.0%
但東	42	16	38.1%	26	61.9%	2	7.7%	24	92.3%
全体	359	187	52.1%	172	47.9%	16	9.3%	156	90.7%

《参考 2022年度調査結果》 N=359

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	123	72	58.5%	51	41.5%	7	13.7%	44	86.3%
城崎	31	8	25.8%	23	74.2%	2	8.7%	21	91.3%
竹野	42	17	40.5%	25	59.5%	2	8.0%	23	92.0%
日高	70	29	41.4%	41	58.6%	8	19.5%	33	80.5%
出石	51	35	68.6%	16	31.4%	1	6.3%	15	93.8%
但東	42	18	42.9%	24	57.1%	1	4.2%	23	95.8%
全体	359	179	49.9%	180	50.1%	21	11.7%	159	88.3%



(3) 避難行動要支援者個別避難計画の作成（1人以上避難行動要支援者登録のある区）

市が作成している避難行動要支援者名簿（ピンク色の名簿）に1人以上の登録のある区の策定状況は、48.0%（86区）が作成済みという状況である。

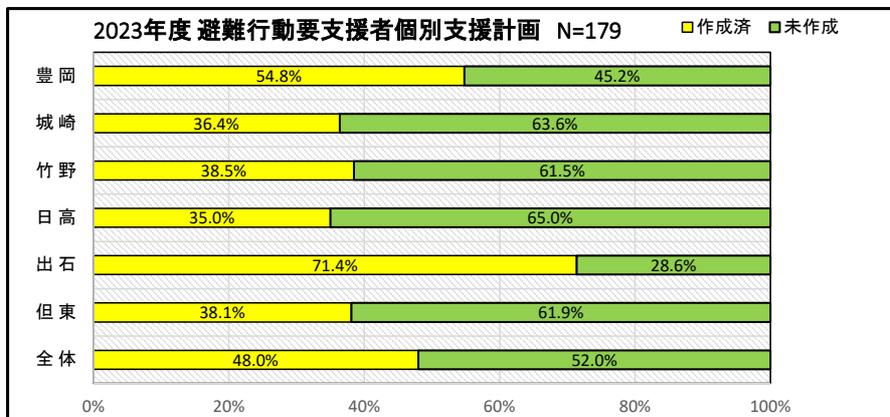
また、未作成の93区のうち、9区が今後個別避難計画の作成の予定があると回答している。

**【2023年度 避難行動要支援者個別避難計画
（1人以上避難行動要支援者登録のある区）】 N=179**

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	73	40	54.8%	33	45.2%	4	12.1%	29	87.9%
城崎	11	4	36.4%	7	63.6%	0	0.0%	7	100.0%
竹野	13	5	38.5%	8	61.5%	0	0.0%	8	100.0%
日高	40	14	35.0%	26	65.0%	4	15.4%	22	84.6%
出石	21	15	71.4%	6	28.6%	0	0.0%	6	100.0%
但東	21	8	38.1%	13	61.9%	1	7.7%	12	92.3%
全体	179	86	48.0%	93	52.0%	9	9.7%	84	90.3%

《参考 2022年度調査結果》 N=182

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	73	32	43.8%	41	56.2%	7	17.1%	34	82.9%
城崎	17	6	35.3%	11	64.7%	2	18.2%	9	81.8%
竹野	14	4	28.6%	10	71.4%	2	20.0%	8	80.0%
日高	37	10	27.0%	27	73.0%	8	29.6%	19	70.4%
出石	21	11	52.4%	10	47.6%	1	10.0%	9	90.0%
但東	22	11	50.0%	11	50.0%	1	9.1%	10	90.9%
全体	184	74	40.2%	110	59.8%	21	19.1%	89	80.9%



(4) 区独自の防災マップの作成

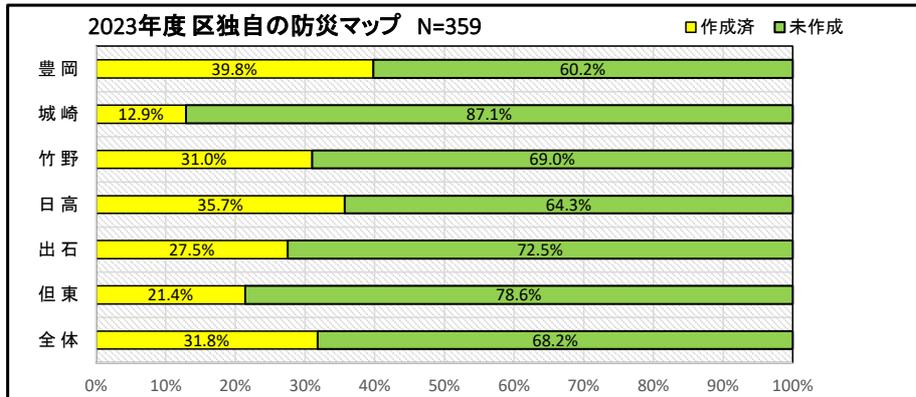
策定状況は全体の31.8%（114区）が作成済みとなっており、昨年度と比較して6区増加した。

【2023年度 区独自の防災マップ】 N=359《市内全区》

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	123	49	39.8%	74	60.2%	4	5.4%	70	94.6%
城崎	31	4	12.9%	27	87.1%	2	7.4%	25	92.6%
竹野	42	13	31.0%	29	69.0%	0	0.0%	29	100.0%
日高	70	25	35.7%	45	64.3%	2	4.4%	43	95.6%
出石	51	14	27.5%	37	72.5%	0	0.0%	37	100.0%
但東	42	9	21.4%	33	78.6%	2	6.1%	31	93.9%
全体	359	114	31.8%	245	68.2%	10	4.1%	235	95.9%

《参考 2022年度調査結果》 N=359

	対象区数	作成済		未作成、無回答					
		区数	率	区数	率	(内)作成予定あり		作成予定なし、無回答	
						区数	率	区数	率
豊岡	123	47	38.2%	76	61.8%	7	9.2%	69	90.8%
城崎	31	4	12.9%	27	87.1%	2	7.4%	25	92.6%
竹野	42	11	26.2%	31	73.8%	1	3.2%	30	96.8%
日高	70	23	32.9%	47	67.1%	5	10.6%	42	89.4%
出石	51	13	25.5%	38	74.5%	0	0.0%	38	100.0%
但東	42	10	23.8%	32	76.2%	1	3.1%	31	96.9%
全体	359	108	30.1%	251	69.9%	16	6.4%	235	93.6%



4 各種防災訓練の実施状況

(1) 2023年度の各種防災訓練実施状況

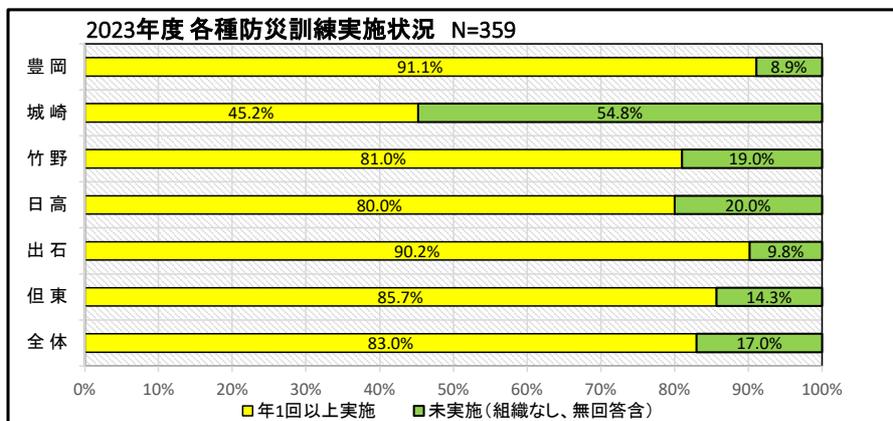
各種防災訓練の実施状況については、年2回以上実施した区が12.8%（46区）、年1回は70.2%（252区）となっており、全体では83.0%（298区）と、昨年度と比較して6区増加した。

【2023年度 各種防災訓練実施状況】 N=359<<市内全区>>

	対象区数	実施済						未実施、無回答	
		年2回以上		年1回		合計		区数	率
		区数	率	区数	率	区数	率		
豊岡	123	31	25.2%	81	65.9%	112	91.1%	11	8.9%
城崎	31	0	0.0%	14	45.2%	14	45.2%	17	54.8%
竹野	42	0	0.0%	34	81.0%	34	81.0%	8	19.0%
日高	70	11	15.7%	45	64.3%	56	80.0%	14	20.0%
出石	51	2	3.9%	44	86.3%	46	90.2%	5	9.8%
但東	42	2	4.8%	34	81.0%	36	85.7%	6	14.3%
全体	359	46	12.8%	252	70.2%	298	83.0%	61	17.0%

《参考 2022年度調査結果》 N=359

	対象区数	実施済						未実施、無回答	
		年2回以上		年1回		合計		区数	率
		区数	率	区数	率	区数	率		
豊岡	123	29	23.6%	79	64.2%	108	87.8%	15	12.2%
城崎	31	0	0.0%	11	35.5%	11	35.5%	20	64.5%
竹野	42	2	4.8%	33	78.6%	35	83.3%	7	16.7%
日高	70	7	10.0%	51	72.9%	58	82.9%	12	17.1%
出石	51	2	3.9%	44	86.3%	46	90.2%	5	9.8%
但東	42	5	11.9%	29	69.0%	34	81.0%	8	19.0%
全体	359	45	12.5%	247	68.8%	292	81.3%	67	18.7%



(2) 2023年度に実施した防災訓練の内容

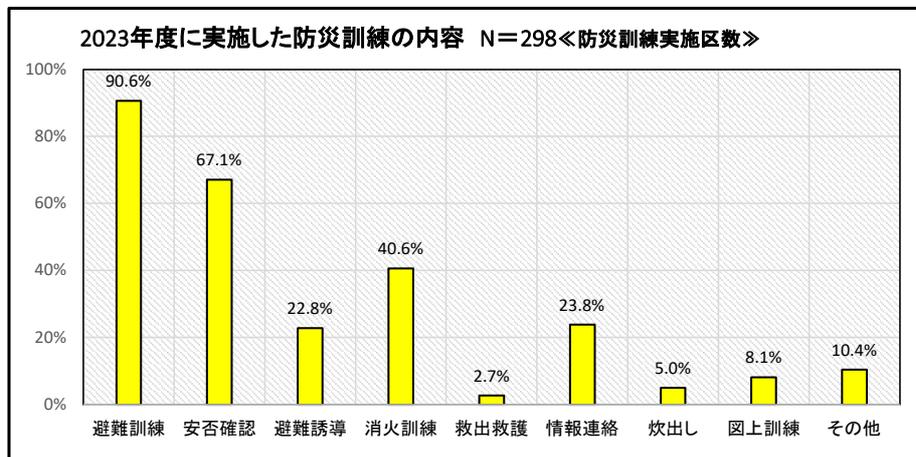
2023年度中に実施した訓練内容については、訓練を行った298区のうち90.6%（270区）が取り組んだ避難訓練が最も多い。次いで安否確認訓練が67.1%（200区）、消火訓練が40.6%（121区）、情報連絡訓練が23.8%（71区）、要配慮者の避難誘導訓練が22.8%（68区）となっている。
その他には、市の出前講座、土のう作り演習、被害確認訓練、AED講習などが挙げられる。

【2023年度 防災訓練実施内容】 N=298<防災訓練実施区数>
複数回答で回答合計数は808

	避難訓練	安否確認	避難誘導	消火訓練	救出救護	情報連絡	炊出し	図上訓練	その他
豊岡	99	79	33	47	8	34	7	11	16
城崎	16	6	0	6	0	1	0	1	2
竹野	32	24	9	13	0	3	1	3	3
日高	53	37	8	28	0	12	1	6	5
出石	40	35	15	16	0	14	4	0	3
但東	30	19	3	11	0	7	2	3	2
全体	270	200	68	121	8	71	15	24	31
割合	90.6%	67.1%	22.8%	40.6%	2.7%	23.8%	5.0%	8.1%	10.4%

《参考 2022年度調査結果》 N=292<訓練実施区数>
複数回答で回答合計数は740

	避難訓練	安否確認	避難誘導	消火訓練	救出救護	情報連絡	炊出し	図上訓練	その他
豊岡	93	70	33	47	3	31	3	12	17
城崎	8	1	0	2	0	1	0	1	1
竹野	32	16	10	12	1	5	2	3	5
日高	52	29	9	21	1	10	1	3	4
出石	41	33	15	14	2	12	5	0	2
但東	27	19	5	15	0	7	1	1	2
全体	253	168	72	111	7	66	12	20	31
割合	86.6%	57.5%	24.7%	38.0%	2.4%	22.6%	4.1%	6.8%	10.6%



(3) 2023年度中に1回以上の防災訓練を実施しなかった理由

2023年度中に訓練を実施しなかった区は、市全体の17.0%（61区）であった。
「参加者が見込めない」を理由に挙げた区が21.3%（13区）で、最も多い要因となった。

【2023年度 防災訓練未実施理由】 N=61<<訓練未実施区数>>

複数回答で回答合計数は38

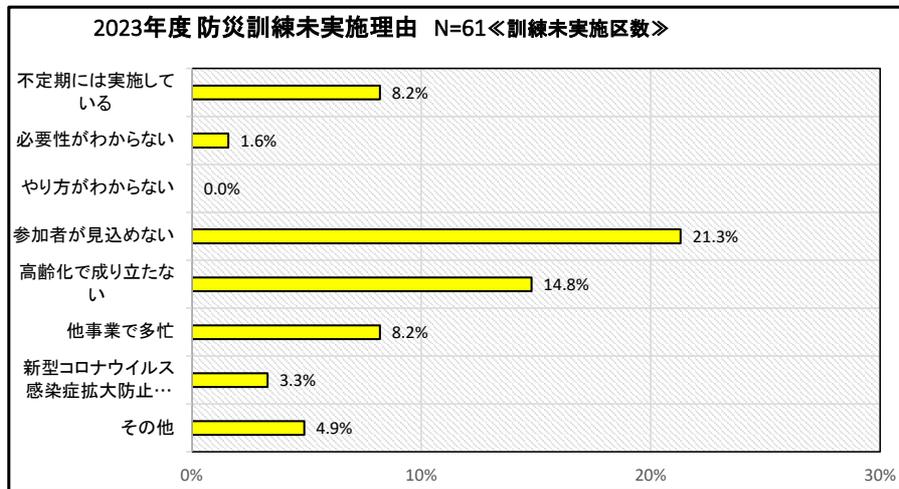
	不定期には実施している	必要性がわからない	やり方がわからない	参加者が見込めない	高齢化で成り立たない	他事業で多忙	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為	その他	合計
豊岡	2	0	0	5	3	2	2	0	14
城崎	1	0	0	3	2	3	0	0	9
竹野	0	0	0	3	2	0	0	1	6
日高	1	0	0	1	0	0	0	1	3
出石	0	1	0	1	1	0	0	0	3
但東	1	0	0	0	1	0	0	1	3
全体	5	1	0	13	9	5	2	3	38
割合	8.2%	1.6%	0.0%	21.3%	14.8%	8.2%	3.3%	4.9%	

61

《参考2022年度調査結果》 N=67<<訓練未実施区数>> 複数回答で回答数合計は61

	不定期には実施している	必要性がわからない	やり方がわからない	参加者が見込めない	高齢化で成り立たない	他事業で多忙	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為	その他	合計
豊岡	1	1	1	2	2	1	8	0	16
城崎	1	0	0	5	5	4	8	1	24
竹野	0	0	0	1	1	0	0	1	3
日高	2	0	1	2	1	0	2	1	9
出石	0	0	0	0	0	0	1	0	1
但東	1	1	1	1	1	1	2	0	8
全体	5	2	3	11	10	6	21	3	61
割合	7.5%	3.0%	4.5%	16.4%	14.9%	9.0%	31.3%	4.5%	

67



5 平常時の活動状況

平常時の活動内容については、消火栓・防火水槽等の点検が74.9%（269区）で最も多く、次いで要配慮者への声かけ等が56.5%（203区）、地区内防災巡視が52.6%（189区）、防災知識啓発が44.0%（158区）、防災器具の頒布・共同購入が31.8%（114区）の順になっている。

【2023年度 平常時の活動状況】 N=359<<市内全区>>
複数回答で回答合計数は948

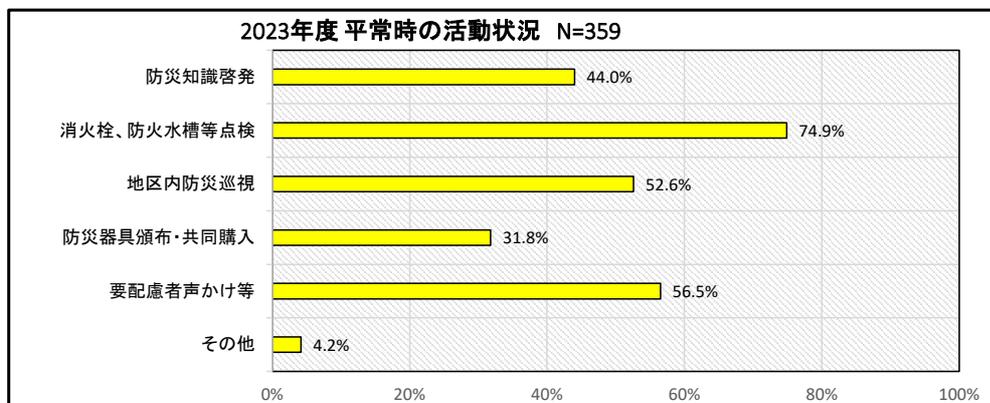
	防災知識啓発	消火栓、防火水槽等点検	地区内防災巡視	防災器具頒布・共同購入	要配慮者への声かけ等	その他	合計
豊岡	62	105	81	45	81	9	383
城崎	11	8	9	9	9	3	49
竹野	20	28	16	13	19	1	97
日高	31	51	40	25	35	0	182
出石	20	43	25	16	36	0	140
但東	14	34	18	6	23	2	97
全体	158	269	189	114	203	15	948
割合	44.0%	74.9%	52.6%	31.8%	56.5%	4.2%	

359

《参考 2022年度調査結果》 N=359<<市内全区>> 複数回答で回答合計数は993

	防災知識啓発	消火栓、防火水槽等点検	地区内防災巡視	防災器具頒布・共同購入	要配慮者への声かけ等	その他	合計
豊岡	64	104	73	44	75	10	370
城崎	12	10	12	12	12	4	62
竹野	21	29	19	15	20	2	106
日高	33	56	43	34	37	2	205
出石	19	44	26	19	36	1	145
但東	17	35	22	9	21	1	105
全体	166	278	195	133	201	20	993
割合	46.2%	77.4%	54.3%	37.0%	56.0%	5.6%	

359



6 防災資機材の整備状況

(1) 防災資機材の整備状況

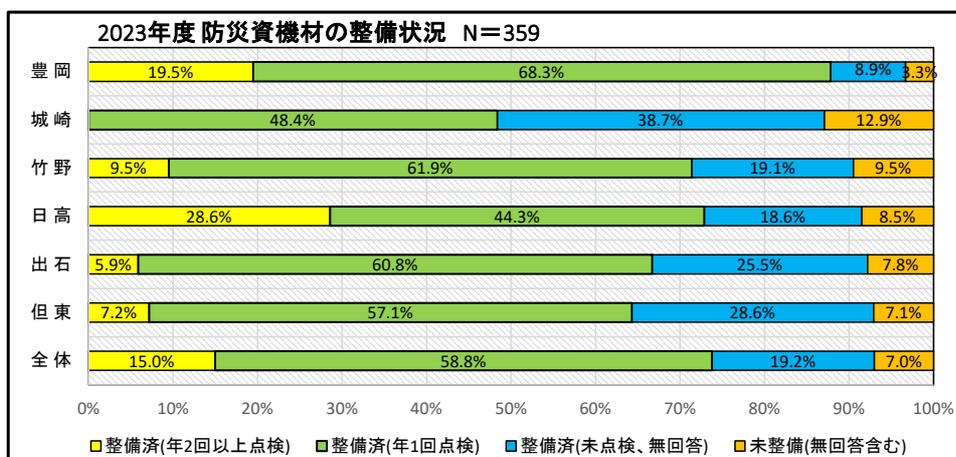
防災資機材の整備状況については、全体で93.0%（334区）が整備済みとなっている。

【2023年度 防災資機材の整備状況】 N=359<市内全区>

	対象区数	整備済						未整備、無回答	
		年2回以上点検		年1回点検		未点検、無回答		区数	率
		区数	率	区数	率	区数	率		
豊岡	123	24	19.5%	84	68.3%	11	8.9%	4	3.3%
城崎	31	0	0.0%	15	48.4%	12	38.7%	4	12.9%
竹野	42	4	9.5%	26	61.9%	8	19.1%	4	9.5%
日高	70	20	28.6%	31	44.3%	13	18.6%	6	8.5%
出石	51	3	5.9%	31	60.8%	13	25.5%	4	7.8%
但東	42	3	7.2%	24	57.1%	12	28.6%	3	7.1%
全体	359	54	15.0%	211	58.8%	69	19.2%	25	7.0%
		334 (93.0%)							

《参考 2022年度調査結果》 N=359

	対象区数	整備済						未整備、無回答	
		年2回以上点検		年1回点検		未点検、無回答		区数	率
		区数	率	区数	率	区数	率		
豊岡	123	23	18.7%	85	69.1%	12	9.8%	3	2.4%
城崎	31	1	3.2%	15	48.4%	11	35.5%	4	12.9%
竹野	42	5	11.9%	22	52.4%	9	21.4%	6	14.3%
日高	70	19	27.1%	35	50.0%	12	17.1%	4	5.7%
出石	51	5	9.8%	30	58.8%	12	23.5%	4	7.8%
但東	42	6	14.3%	23	54.8%	12	28.6%	1	2.4%
全体	359	59	16.4%	210	58.5%	68	18.9%	22	6.1%
		337 (93.9%)							



(2) 防災資機材の保有状況

防災資機材の保有状況は、初期消火用が92.2% (308区)、次いでヘルメット等が71.6% (239区)、水防用 (土のう袋、かけや等) が69.2% (231区)、ハンドマイクが63.5% (212区)、避難救出用 (テント、担架等) が55.1% (184区)、救助用 (ジャッキ、バール等) が34.7% (116区) の順になっている。また、可搬式の消防ポンプは22.5% (75区) が保有している。

【2023年度 防災資機材の保有状況】 N=334<資機材整備済区> 複数回答で回答合計数は1,542

	初期消火用	携帯用無線	ハンドマイク	救助用	避難救出用	水防用	医療・救護用	ヘルメット等	発電機	AED	可搬式消防ポンプ	可搬式排水ポンプ
豊岡	116	18	94	69	103	98	27	108	6	3	8	3
城崎	23	1	8	3	3	10	1	16	0	0	5	0
竹野	33	3	23	17	10	25	4	17	11	0	7	0
日高	60	15	47	20	34	48	17	57	33	5	46	1
出石	45	2	27	3	8	22	4	27	8	2	7	1
但東	31	0	13	4	26	28	0	14	12	0	2	0
全体	308	39	212	116	184	231	53	239	70	10	75	5
割合	92.2%	11.7%	63.5%	34.7%	55.1%	69.2%	15.9%	71.6%	21.0%	3.0%	22.5%	1.5%

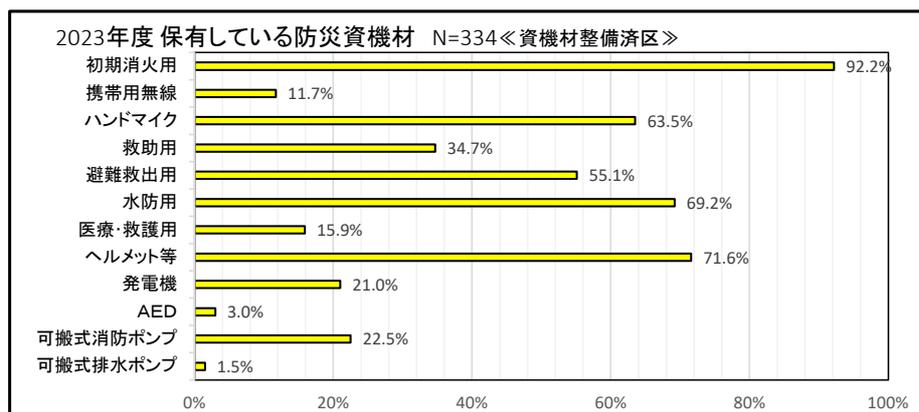
《参考 2022年度調査結果》 N=337<資機材整備済区>

複数回答で回答合計数は1,514

	初期消火用	携帯用無線	ハンドマイク	救助用	避難救出用	水防用	医療・救護用	ヘルメット等	発電機	AED	可搬式消防ポンプ	可搬式排水ポンプ
豊岡	114	19	96	69	100	97	28	112	6	3	8	3
城崎	23	1	9	2	2	11	1	16	0	0	5	0
竹野	32	2	23	15	10	22	2	16	9	0	8	0
日高	59	11	46	20	34	45	14	55	32	4	46	1
出石	44	2	27	3	10	23	4	27	8	2	5	2
但東	29	0	14	5	27	25	0	12	13	0	1	0
全体	301	35	215	114	183	223	49	238	68	9	73	6
割合	89.3%	10.4%	63.8%	33.8%	54.3%	66.2%	14.5%	70.6%	20.2%	2.7%	21.7%	1.8%

【資機材リスト】

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 初期消火用 (消火器、バケツ等) | ⑦ 救急医療用、救護用 |
| ② 携帯用無線通信機 | ⑧ ヘルメット、防火衣 |
| ③ ハンドマイク | ⑨ 発電機 |
| ④ 救助用 (ジャッキ、バール等) | ⑩ AED |
| ⑤ 避難救出用 (テント、担架等) | ⑪ 可搬式の消防ポンプ |
| ⑥ 水防用 (土のう袋、かけや等) | ⑫ 可搬式の排水用ポンプ |



※市では、今回の調査結果をもとに、次のとおり自主防災組織の育成・強化の取り組みを推進していく。

【今後の主な育成・強化対策】

- 1 市民総参加訓練の継続（風水害、地震想定を交互に実施）
 - (1) 8月の最終日曜日を統一訓練日と定めて、訓練に取り組みやすくする。
 - (2) 避難訓練を実施することで問題点を洗い出し、避難マニュアル等の見直しにつなげる。
 - (3) 訓練を通して、避難行動要支援者の避難方法の見直しにつなげる。
- 2 防災ワークショップの実施
 - (1) 地域コミュニティ単位で行うことにより、各区での取り組み状況の違いや課題を共有し、地域全体の防災力の向上を目指す。
 - (2) 行政区別防災マップを活用して、地域内の災害リスク等の情報を共有し、地域の共助力の向上につなげる。
- 3 市政出前講座の実施
 - (1) 地域コミュニティや自主防災組織で取り組むべき内容を共有し、組織の活動や結成を促進する。
 - (2) 風水害時のもしもの時の避難行動に役立つ「マイ避難カード」の作成を支援する。
- 4 自主防災組織等資機材整備事業補助金制度等の活用促進
 - (1) 市民総参加訓練等を活用した補助金制度の活用を促進する。
 - (2) 耐用年数を迎えた消防団配備の小型動力ポンプの無償譲渡を実施する。
 - (3) 自主防災組織が所有する消防用車両の車検整備費の補助。
- 5 自主防災組織や災害時マニュアル等の作成支援
 - (1) 規約や災害時マニュアル等の作成例をホームページ等で広く紹介する。
 - (2) 区の防災に関する個別課題に対する相談支援を行う。
 - (3) 組織内の役員、防災リーダー等への女性の参画を促進する。
- 6 避難行動要支援者の支援体制整備に対する支援
 - (1) 支援者に対するボランティア保険の加入支援を継続する。
 - (2) 地域での支援が困難な方の個別避難計画の作成を支援する。
- 7 各種訓練の推奨及び支援
 - (1) HUG（ハグ）（避難所運営ゲーム）やDIG（ディグ）（災害図上訓練）等を通じ、訓練の取り組みを支援する。
- 8 消防団による自主防災組織訓練指導の実施
 - (1) 自主防災組織等資機材整備事業の活用に対し、地区消防団員の訓練協力を通じて消防団と自主防災組織の連携強化に努める。